

中央防災会議「東南海、南海地震等に関する専門調査会」(第10回)

議事概要について

中央防災会議事務局（内閣府(防災担当)）

1. 専門調査会の概要

日時：平成15年4月17日（木）10:00～12:00

場所：虎ノ門パストラル 新館6階 「アジュール」

出席者：土岐座長、阿部、安藤、今村、入倉、河田、島崎、中埜、翠川の各専門委員、山本内閣府政策統括官（防災担当）、山口審議官（防災担当）他

2. 議事概要

前回までの議論を踏まえ、東南海、南海地震が発生した場合の被害想定についてのとりまとめを行った。最初に事務局より、資料の説明を行い、出席者間で以下のような意見交換を行った。なお、詳細な議事録については後日各委員の確認を経た後で公表の予定。

被害想定公表にあたっては、前提条件をしっかりと明記すべき。

今後の被害想定では、非木造建築物についてもできるだけ年代別に評価すべきではないか。

昭和の東南海、南海地震を経験している人に対して、昭和の地震はこのタイプの地震としては比較的小規模なものであり、歴史的には今回想定しているようなもっと規模の大きな地震が発生しているということをしっかりと認識してもらう必要がある。

地震発生の可能性が低くても、発生する可能性があれば防災対策に差をつけることはできないので、防災対策の検討にあたっては、全国どこでも地震は発生するものと考えておくべき。

モーメントマグニチュードと気象庁マグニチュードとの区別を明確にして検討すべき。

<連絡・問い合わせ先>

内閣府 地震・火山対策担当参事官補佐 齋藤 誠
参事官付主査 宮川 康平

TEL：03-3501-5693（直通） FAX：03-3501-5199